

質問書に対する回答

(工事名) 横浜環状南線 釜利谷ジャンクションHランプ第二トンネル工事

番号	質問箇所	質問事項	回 答
1	特記仕様書、P3128-2-2 客土掘削 単価表項目土砂(表土)A 内容2) 土取り場Aでの大型土の撤去、中詰め土砂の積み	左記、撤去する大型土のうの数量、1袋当たりの土砂数量をご教示願います。 設計図書及び貸与用電子媒体に格納されている設計業務成果品等を確認しても見当たりません。	R3.8.11 訂正公告図書(参考図 32/32)をご参照ください。
2	金抜き設計書番号 56Type C、57Type D、仕様について	左記、設計図書に示す記号をご教示願います。 設計図書及び貸与用電子媒体に格納されている設計業務成果品等を確認しても見当たりません。	R3.8.11 訂正公告図書(特記仕様書)、共通仕様書をご参照ください。
3	金抜き設計書番号 55Type B、仕様について	左記、設計図書に示す数量計算書 P10-11 数量総括表を集計しますと、23 箇所となります。金抜き設計書数量が、25 箇所となっていますが、これは特記仕様書 P34 にあります $D_c^{\wedge}(D)-0.5-0.5-1.0$ が 2 箇所です。ご教示願います。	Type B の設計数量は、設計図書に示すとおり 25 箇所となります。なお、 $D_c^{\wedge}(D)-0.5-0.5-1.0$ の数量は 1 箇所です。本工事に関わる設計数量については、設計図書をご参照ください。
4	金抜き設計書番号 58Type E、仕様について	左記、設計図書に示す数量計算書 P10-11 数量総括表を集計しますと、7 箇所となります。金抜き設計書数量が、12 箇所となっています。残り 5 箇所の「設計図書に示す記号」をご教示願います。	本工事に関わる設計数量については、設計図書をご参照ください。
5	金抜き設計書番号 59Type F、仕様について	左記、設計図書に示す数量計算書 P10-12 数量総括表を集計しますと、10 箇所となります。金抜き設計書数量が、11 箇所となっています。残り 1 箇所の「設計図書に示す記号」をご教示願います。	本工事に関わる設計数量については、設計図書をご参照ください。

6	金抜き設計書番号 60Type L、仕様について	特記仕様書に示す「設計図書に示す記号」の 9 箇所の内訳をご教示願います。	本工事に関わる設計数量については、設計図書をご参照ください。
7	金抜き設計書番号 69 継ぎ目工の止水板仕様について	図面番号 47/141 では、止水板 B となっていますが、数量計算書 10-13 では止水板 A となっています。止水板の仕様、寸法についてご教示願います。	止水板の仕様、寸法については、設計図書に示す止水版 B のとおりです。
8	金抜き設計書番号 75、76、78 コンクリート工数量内訳について	数量計算書 10-14, 15 を確認しましても、それぞれ 38m <sup>3</sup> , 35m <sup>3</sup> , 58m <sup>3</sup> となりません。内訳についてご教示願います。	本工事に関わる設計数量については、設計図書をご参照ください。
9	金抜き設計書番号 80、81 型枠工の数量内訳について	数量計算書 10-16 を確認しましても、それぞれ型枠工 C 962 m <sup>2</sup> , 型枠工 D 212m <sup>2</sup> となりません。内訳についてご教示願います。	本工事に関わる設計数量については、設計図書をご参照ください。
10	金抜き設計書番号 83 鉄筋工の数量内訳について	数量計算書 10-17 を確認しましても、金抜き設計書の数量となりません。内訳についてご教示願います。	本工事に関わる設計数量については、設計図書をご参照ください。